



# 『しまの宝』

第6号 R2.6.16発行

文責：校長 日高 洋子

## 中総体に出場しました

6月14日に五島市中学校総合体育大会が開催され、本校から4名が卓球競技に出場しました。5月に開催予定が6月に延期されましたが、休校などもあり、十分な練習ができませんでした。それでも、4名は自分の力を信じ、五島市中体連の参加選手心得である【1に感謝 2にマナー 3に勝負】で最後まで諦めず競技しました。

結果は賞状には手が届きませんでしたでしたが、リーグ戦で1勝できたり、惜しいところまで相手を追い込んだり、それぞれの形で満足のいく大会になりました。2年生が多いので、試合の課題をもとに、次の目標をたてて頑張ってください。

小学生や中学1年生は応援に参加できませんでしたが、激励会での応援や、みんなで作ってくれた、応援旗で選手を支えてくれました。



なお、地域の皆様には、たくさんのご厚志を頂戴しましてありがとうございました。新人大会ではご期待に添えるよう、力を尽くしてくれると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

## あいさつ運動と

## 朝清掃が始まりました

予定していた、しま留学児童生徒の来島が完了し、今月から、やっと児童生徒会活動が開始されました。活動の一つとして、朝7時30分から校門に整列して、地域の皆さんにあいさつ運動を行っています。また、校舎の回りにある植木の落ち葉を清掃しています。6月とはいえ、晴れたらジリジリとした暑さを感じる時間帯ですが、ボランティア活動で子ども達の感性を磨くと共に、地域の方と関わり合いを持ち、生き生きと活動するという目的をもって行っています。温かく見守っていただけたらと思います。

## 新しい仲間です

しま留学生が来島しました。<sup>しろうずなほ</sup>白水南帆さんと<sup>みなみ</sup>南那美さんは姉妹で<sup>ながたそうし</sup>継続留学生です。南帆さんは中1南那美さんは4年生、<sup>としやまふくたろう</sup>永田蒼士さんは5年生、<sup>なかのさしやな</sup>越山福太郎さんは6年生です。中野紗菜さんは中2、継続留学生です。一ノ瀬彩さんは中1です。よろしくお願いいたします。



→ 福太郎さんは、ちょっと、緊張気味です。久賀では釣りを楽しみにしているそうです。

# 玉之浦中学校との えんかく 遠隔授業を実施

6月11日、2年生理科の授業で2回目の玉之浦中学校6名の生徒と遠隔授業を行いました。お互いに小規模校なのでテレビ中継の感覚で有意義な時間を過ごしました。子ども達も初めは緊張した面持ちでしたが、しだいにうち解けて、授業の中で交流ができました。学校では同じ人の意見しか聞くことができないため、他校生徒の多様な意見に耳を傾け自分の考えを持つことは貴重な経験になりました。他の教科でも遠隔授業が、学習を高めるきっかけになってくれるはずです。



理科の実験をお互いの学校で行い、実験結果をもとに自分の考えを発表します。優樹さんは玉之浦中学校の男子生徒とやりとりをしました。



潤奈さんと紗菜さんは、優樹さんとは別の班で自分の意見を聞いてもらったり、相手の結果を聞いたりして、授業のまとめに取り組みます。

遠隔授業には、各学校に機器の環境が整っていないければなかなかできません。今回、先生方の工夫と努力で、子ども達に学習環境が広がりました。玉之浦中の小林先生にも感謝です。

# 久賀小中、伝統の俳句

久賀の自然事象、自分の思いを俳句にすることは、以前から久賀小中学校の伝統の一つとして、受け継がれていることです。先日、長崎新聞のジュニア俳壇に佳作で掲載された優樹さんの俳句は、優樹さんの思いが詰まったものになりました。

【山の上 桜満開 梅満開】

選者からは、「すてきな風景」と評されていました。久賀の自然豊かな風景が目には浮かびます。俳句を詠むことで子ども達の心に、ふるさとの情景が残っていつまでも大切に思うことができたらと思っています。小学生も、こんな俳句を詠み、新聞に掲載されています。

【テナガエビ 編み目気になる 川の中】

3年生の侑都さん作です。久賀の川が大好きな様子がうかがえます。

【春風に 連れてくるくる 魔の花粉】

6年生の琉嘉さん作です。花粉症の人には「くるくる」と言いたい様子が手に取るようにわかります。他の児童生徒も秀逸なものばかりですので、機会あるごとに紹介します。

# 2か月遅れの 入学セレモニー

4月に中学校入学予定だった一ノ瀬彩さん<sup>いちのせあや</sup>、白水南帆さん<sup>しろみずなほ</sup>が、無事6月に来島できました。2か月遅れでしたが「入学式」の代わりに「入学セレモニー」を行いました。来賓も保護者もお迎えすることができませんでした。全校児童でお祝いして、心が温まるセレモニーとなりました。ここで、それぞれが自分を磨き成長してくれることを期待します。

